

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

日時 令和7年10月8日(水) 公開授業II

児童 14名

指導者 山本紀代

1 単元について

(1) 単元名 「八幡平市と岩手山 ～わたしたちにできる防災～」

(2) 教科等横断的単元構想図【総合的な学習の時間+社会科】

〈児童の実態と教科横断するよさ〉

平館で水害が起きていることや、岩手山が今後噴火する確率の高い火山であることはこれまでの学習や避難訓練等で知っているが、具体的にどのように危険なのか、また、避難する際どんなものが必要なのかなど、自分事として捉え、自分の命を自分で守ろうという意識まで高まっているとはいえない。「問題解決力」と「困難を乗り越える力」を育成するために、総合的な学習の時間と社会科をつなぐ。

〈総合的な学習の時間〉

「登山遠足」を通して、八幡平市の自然の雄大さや素晴らしさに触れる。

〈総合的な学習の時間〉

「まちあるき防災学習」を通して、平館地域に起こった水害について、調べて分かったことをまとめる。

「平館地区でも水害が起こったことを初めて知った。今年も大雨で道路に水がたまったから、他人ごとではない。」

ゲストティーチャーからお話を伺い、水害が自分の身近なところでも過去に起こり、将来も起こり得ることだと認識し、自分事として捉えたと共に、気を付けたり備えたりしないといけないという意識をもたせる。

〈社会科〉

「自然災害に備えるまちづくり」を学習し、自然災害から地域の安全を守るための諸活動について分かったことを図にまとめる。

「岩泉町でも水害が起こって多くの被害が出ていることが分かった。災害に備えるまちづくりは八幡平市と同じかな？」

まちあるきで見たり聞いたりした災害に備える施設や取組と、岩泉町の共通点と相違点に着目させる。

〈社会科〉

社会科見学で岩手県総合防災センターを見学し、災害を疑似体験したり、災害について学んだりする。

水害が起こったらどんなことに気を付けなければならないのか学習することができた。また、いろいろな災害を体験することができた。

様々な自然災害の疑似体験を通して、災害の備えや、災害に遭った時の身の守り方を理解する。

〈総合的な学習の時間〉

平館地域に被害の可能性のある岩手山の噴火について、噴火の仕方や歴史、噴火した際の被害などを学ぶ。

「岩手山が噴火したら、平館地域にはどのような被害の可能性があって、どのような備えが必要なのだろう。」

岩手山の噴火の歴史や噴火によって起こる被害などについて知る。

〈総合的な学習の時間〉

災害が起こった時に備えて、自然災害から自分の命を守るために、どんな備えがあるのか知り、自分の命を守るために必要な備えについて考え、自分が考えた方法でまとめる。

「自分の命を守るために、どのような備えが必要なのか考えよう。」「災害が起きた時どう行動すればよいだろう。」「避難してきた時、何があるとよいだろう。食料はどうしよう。」

自分が伝えたいことを自分が考えた方法でまとめさせ、それを家族や地域の人などに伝えようとする態度を育てる。

○自己(人間)の生き方にかかわる目指す児童の姿(育みたい資質・能力が現れた姿)

〈総合的な学習の時間〉

平館地域に起こる可能性のある災害(主に水害、岩手山の噴火)について、地域の方とのかかわりを通して調べることで、自分の命は自分で守る、災害に備えての心構えや避難に必要なもの、避難時の行動について選択・実行できる児童。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
総合的な学習の時間	<p>①八幡平市の自然の豊かさと、それに伴う自然災害や防災について知るとともに、災害から身を守るための方法を知る。</p> <p>②調査活動を目的や場面に応じた方法で実施している。</p> <p>③自分で自分の命を守る意識と防災の重要性への認識の高まりは、自然災害や防災と自分たちの生活との関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①自分たちの命を守る防災の在り方について感じた関心をもとに課題を設定している。</p> <p>②課題解決に必要な情報を、多様に収集し、蓄積している。</p> <p>③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えている。</p> <p>④相手や目的に応じて、わかりやすく表現している。</p>	<p>①八幡平市の自然の豊かさと、それに伴う自然災害や防災に関心を持ち、自分自身の生活を見つめ直し、探究的な学習に取り組もうとしている。</p> <p>②自分と異なる意見や考えのよさを理解しながら、協働して学び合おうとしている。</p> <p>③自然災害や防災と自分たちの生活との関わりに気付き、自分の命を守る行動の重要性を伝えようとしている。</p>
社会科	<p>①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。</p> <p>②調べたことをまとめ、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。</p>	<p>①過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動について考えている。</p> <p>②自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて、災害から人々を守る活動の働きを考えたり、学習したことを基に、災害が起きたときに自分自身の安全を守るための行動の仕方を考えたり、自分たちにできる自然災害の備えを選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとしている。</p>

3 単元計画（59時間）

	小単元名 (時数)	ねらい・学習活動(時数)	考える活動の手立て	知 思 態		
				知	思	態
総合的な学習の時間	1 自然豊かな八幡平市 (7)	・八幡平市は自然豊かな市であることを知る。(1)	ア 考えを引き出す イ 考えを整理・分析する			①
		・登山遠足で、自然の雄大さ素晴らしさを実感する。(6)	イ 考えを整理・分析する			①
	2 まちあるき (16)	・自然は素晴らしさとは表裏一体で、危険な面もあり、平館地域でも自然災害(水害)が起きたことを知る。(2)(ゲストティーチャー2/2)	ア 考えを引き出す	①		
		・まち歩きを通して、平館地域に起きた自然災害による危険個所について確認する。(4)	ア 考えを引き出す イ 考えを整理・分析する		①	

		・調べて分かったことをまとめる。(10)	イ 考えを整理・分析する ウ 考えをまとめる	② ③	② ③ ④	② ③	
社会科	3 自然災害にそなえるまちづくり(10)	・岩手県では、これまでにどこでどのような自然災害が起こってきたかを知る。(1)	ア 考えを引き出す			①	
		・水害が発生したときの様子や被害状況などについて資料を活用しながら必要な情報を調べる。(1)	イ 考えを整理・分析する		①		
		・水害が発生したとき、人々を守るために誰がどのような活動をしているかを調べる。(1)	イ 考えを整理・分析する		①		
		・今後想定される水害に備えて、岩手県や岩泉町ではどのような施設や事業などの対策をしているのかを調べる。(1)	イ 考えを整理・分析する		①		
		・地域や学校などでは、水害から暮らしを守るためにどのような取り組みをしているのかを調べる。(1)	イ 考えを整理・分析する		①		
		・地域の水害に備える取り組みを振り返り、学習問題について自分の考えをまとめる。(2)	ウ 考えをまとめる	① ②			
		・岩手県総合防災センターを見学し、災害を疑似体験したり、災害の備えや、災害に遭った時の身の守り方を理解したりする。(3)	イ 考えを整理・分析する	①	② ②		
総合的な学習の時間	3 岩手山の火山防災(6)	・岩手山の自然の素晴らしさと岩手山の噴火の歴史を知り、新たな課題を立てる。(1)	イ 考えを整理・分析する			①	
		・日本列島の火山の噴火の仕組み、岩手山の噴火の仕方を知る。(1)	イ 考えを整理・分析する	①			
		・岩手山が噴火すると、どのような被害が起こるのかを知る。(2)	イ 考えを整理・分析する	①			
		・噴火が起きたらどうするか、事前の備えや、命を守る行動等について考える。(2)(本時1/2)	イ 考えを整理・分析する	①		②	
	4 自然災害に備えよう～わたしたちができること(20)	・自然災害から自分の命を守るため、より詳しく調べたいことを考え 学習計画を立てる。 ・課題について調べ、まとめる。(11)	ア 考えを引き出す		② ② ③	①	
		・調べたことをまとめたものを、発信する準備をし、発信する。(8)	イ 考えを整理・分析する ウ 考えをまとめる		④	② ③	
		・単元を振り返り、つけた力を確かめる。(1)	ウ 考えをまとめる エ 考えをつなげる手立て	③			

4 本時の指導(36/56時間)

(1) 本時のねらい

岩手山の噴火により起こりうる被害から、どのような備えがあればよいかを自分事としてとらえて考える。

(2) 展開

段階	学習活動と子どもの反応	形態	指導上の留意点と教師の働きかけ 【考える活動の手立て】
導入 5分	<p>1 前時までの学習を想起する。 ・岩手山の噴火によりどんな被害が出るのかを知った。</p> <p>2 本時の課題を確認する。 ○避難の想定を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>夕方5時に一人で家にいるとき、岩手山の噴火の知らせと共に、数時間後、火山泥流が流れ込む恐れがあることから避難指示が発令されました。家族と相談して決めた避難所に一人で避難しなければなりません。どうしますか。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひなんするとき、命を守るために 必要なそなえは何か、考えよう。</p> </div>	全	<p>・つなぐシートに記録したものを振り返り、板書しておくことで、本時の学習課題につなげるとともに、解決の手掛かりとする。</p> <p>・「備え」を「もの」と「行動」とし、「もの」とはリュックに入れることのできる備え、「行動」とはリュックに入れることのできない備えであることを押さえる。</p>
展 開 35分	<p>3 避難時に必要な「行動」、「もの」について考える ○既習事項をもとに個人で考える。 ・災害時の避難場所はどこだったか。 ・避難場所でどんな不便なことが想定されるか。 ・何を持っていけば役に立つか ・危ない場所はどんな所だったか。 ○個人の考えを班内で出し合い、必要な「行動」と「もの」について考え、必要なものをリュックに詰めてみる。</p> <p>4 それぞれの班で考えたことを交流する ○学びたい点や、アドバイスしたい点などについて交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・リュックにたくさんのは入らないので、自分に必要な量の水と食料を持っていきたい。 ・夕方だから、懐中電灯が必要だ。 ・火山泥流の上を歩くことになるかもしれないから運動靴ではなく、長靴で避難。 ・まちあるきで学んだ、危険な場所は通らないようにする。 ・家族と避難場所を決めておかないと、いざというときにどこに避難したらよいか分からなくなる。</p> </div>	個 グ 全 個 全	<p>・「もの」を選ぶ際には、それが必要な根拠を明らかにさせながら選ばせる。 ・実物が準備できない物について、カードに書き込めるようにする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【手立て イ 考えを整理・分析する】 実際のリュックに実物を詰めることで、必要な物を取捨選択、精選する中で、「本当に必要な物＝自分の命を守るための備え」を自分事として考えさせたい。</p> </div> <p>・出された「もの」「行動」について板書し、分類していく。 ・活動してみて感じた難しさについてもふれ、新たな課題の種へとつながるようにする。 ・「まちあるき」などで説明をいただいた地域防災サポーターの田村さんから本時の活動についての講評をいただくことにより、日頃の備えの大切さについて自分事として捉えることができるようにする。</p>
終末 5分	<p>5 学習課題についてまとめる。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <p>自然災害で避難するときに、自分の命を守るために必要だと思う備えは</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p>です。理由は、</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p>です。</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。 ・家に一人でいる時、怖いけれど、自分の命を守るために行動できるようになりたいです。 ・いつ災害が起こるか分からないので、自分の備えは自分で準備したいです。</p>	個 全	<p>・根拠を明らかにし、自分の命を守るために準備したいものについてまとめるようにする。</p> <p>・本時の学習を通して分かったことを生かし、リュックの中身や行動（日頃の備えや必要な「もの」「行動」）についてブラッシュアップしていくとともに、より詳しく調べていくことを確認する。</p>